

## 平成24年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月13日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社CSSホールディングス

コード番号 2304 URL <http://www.css-holdings.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林田 喜一郎

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 吉原 伸幸

TEL 03-3264-1132

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年9月期第1四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第1四半期	2,883	△7.3	43	△34.2	43	△39.6	27	△8.6
23年9月期第1四半期	3,111	4.0	65	86.1	71	58.4	29	698.4

(注) 包括利益 24年9月期第1四半期 26百万円 (△41.2%) 23年9月期第1四半期 44百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第1四半期	536.11	531.24
23年9月期第1四半期	586.67	581.33

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年9月期第1四半期	6,273	1,576	25.1	31,242.81
23年9月期	5,969	1,554	26.0	30,823.21

(参考) 自己資本 24年9月期第1四半期 1,576百万円 23年9月期 1,554百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	0.00	—	100.00	100.00
24年9月期	—				
24年9月期(予想)		0.00	—	500.00	500.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,301	△2.4	129	△35.0	110	△46.9	91	△40.1	1,813.71
通期	12,474	7.5	171	138.8	137	73.3	98	1,233.3	1,957.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年9月期1Q	52,856 株	23年9月期	52,856 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

24年9月期1Q	2,408 株	23年9月期	2,408 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年9月期1Q	50,448 株	23年9月期1Q	50,448 株
----------	----------	----------	----------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

現時点における当期の連結業績予想は、平成23年11月16日に公表したのから変更はありません。(当該業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。そのため、事業環境をはじめとする様々な要因の変化により、実際の業績はこれと異なる可能性があります。)

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(7) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による急激な落ち込みから緩やかな回復が続く一方、円高の長期化や欧州金融危機の深刻化などの景気の下振れリスクにより不安定な状況が続きました。消費者マインドや設備投資の回復も緩やかなものにとどまり、当社グループの主要顧客であるホテル業界、商業施設業界の回復は限定的な状況のまま推移致しました。

このような中、当社グループは、ホテル業界の稼働率の上昇や企業の設備投資再開の動きに対応した業務提案に注力し、収益確保に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における連結売上高2,883百万円（前年同期比7.3%減）、連結営業利益は43百万円（前年同期比34.2%減）、連結経常利益は43百万円（前年同期比39.6%減）、連結当期純利益は27百万円（前年同期比8.6%減）となりました。

続きまして、当第1四半期連結累計期間における事業別の状況は次のとおりです。

#### ① スチュワード管理事業 株式会社セントラルサービスシステム（C S S）

当事業は、ホテル・レストランにおける食器洗浄を中心としたスチュワード管理を全国展開している当社グループの中核事業です。

当第1四半期累計期間においては、ホテル・レストランの稼働率の上昇に対応した業務提案を積極的に行い、売上高の増加に注力致しました。また、前年度より着手した客室清掃業務、一般清掃業務の営業活動および受注を本格化させ、大阪地区の外資系大型シティホテル、長野地区の大手ホテル系列リゾートホテル、札幌地区の全国チェーン型ビジネスホテルにて清掃業務を開始致しました。

この結果、売上高は1,251百万円（前年同期比3.5%減）、営業利益は36百万円（前年同期比45.7%減）となりました。

#### ② 総合給食事業 株式会社センダン（S D N）

当事業は、従業員食堂運営を中心にレストラン運営などフードサービスに係る総合給食事業を全国展開しております。

当第1四半期累計期間においては、横浜地区のシティホテルにて朝食レストランの調理業務を開始致しました。また、C S Sと共同で相互の顧客基盤を活かした営業展開を図り、浦安地区のシティホテルにて従業員食堂業務を開始致しました。

この結果、売上高は541百万円（前年同期比11.0%減）、営業利益は16百万円（前年同期比24.8%減）となりました。

#### ③ 映像・音響機器等販売施工事業 東洋メディアリンクス株式会社（T M L）

当事業は、日本のB G Mのパイオニア企業としての音楽関連事業と、セキュリティー・システム、映像・音響システム的设计施工事業を幅広い顧客層に展開している当社グループの中核事業です。

当第1四半期累計期間においては、震災以降の企業の設備投資再開に合わせた提案を積極的に行い、ブランドショップ内の音響設備・映像設備の新設工事、総合病院内の弱電工事、商業施設内の非常用放送設備の更新工事等を受注致しました。

この結果、売上高は631百万円（前年同期比17.6%減）、営業損失は47百万円（前年同期比19百万円増）となりました。

#### ④ 音響・放送機器等販売事業 音響特機株式会社（O T K）

当事業は、大型スピーカーやアンプ等のプロフェッショナル向け音響機器の輸入および販売事業を展開しております。

当第1四半期累計期間においては、プロオーディオ機器の展示会出展など、海外ブランドをはじめとする販促活動を積極的に推し進めました。

この結果、大型シティホテルへの音響機器の納入、企業・大学等への会議室用音響機器の納入等を行い、売上高は463百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益は31百万円（前年同期比28.0%増）となりました。

⑤総務・人事・経理管理事業 株式会社C S Sビジネスサポート（CBS）

当事業は、総務・人事・経理業務をグループ会社より受託しております。

当第1四半期累計期間においては、新たに外部企業の給与計算業務を開始致しました。また、グループ各社の業務効率化を推進し、長期的な計画に基づくITシステム機器の切替等を実施致しました。

この結果、業績は計画どおり推移致しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期における総資産は6,273百万円で、前連結会計年度に対し303百万円の増加となりました。その主因は、売上債権の減少47百万円に対し現金及び預金の増加203百万円、たな卸資産の増加132百万円によるものであります。

負債の部は、仕入債務の減少29百万円に対し、借入金の増加240百万円、その他流動負債の増加100百万円などにより282百万円増加しました。

純資産は21百万円増加し1,576百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点における当期の連結業績予想は、平成22年11月17日に公表したものと変更はありません。（当該業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。そのため、事業環境をはじめとする様々な要因の変化により、実際の業績はこれと異なる可能性があります。）

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（役員退職慰労引当金）

一部の連結子会社は、前事業年度に係る定時株主総会において、役員退職慰労金制度を廃止し、平成23年11月30日までの在任期間に対応する退職慰労金を打ち切り支給することとし、その支給の時期は、各役員の退任時とすることを決議いたしました。

これに伴い、役員退職慰労引当金残高を取崩し、長期末払金として固定負債の「その他」に含めて計上しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,463,317	2,666,435
受取手形及び売掛金	1,430,601	1,383,184
商品及び製品	279,873	344,065
仕掛品	129,518	178,351
原材料及び貯蔵品	6,863	26,565
その他	132,450	246,168
貸倒引当金	△5,827	△6,440
流動資産合計	4,436,797	4,838,331
固定資産		
有形固定資産	495,157	491,194
無形固定資産	57,616	57,631
投資その他の資産		
投資有価証券	329,157	330,989
その他	651,168	555,105
投資その他の資産合計	980,326	886,095
固定資産合計	1,533,100	1,434,921
資産合計	5,969,898	6,273,252
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	651,112	621,299
短期借入金	1,254,900	1,301,500
1年内返済予定の長期借入金	495,224	585,676
1年内償還予定の社債	187,000	187,000
未払金	475,501	571,023
未払法人税等	10,744	4,766
賞与引当金	128,130	42,234
その他	100,863	201,634
流動負債合計	3,303,476	3,515,134
固定負債		
社債	270,000	235,000
長期借入金	579,511	682,615
退職給付引当金	149,870	157,295
役員退職慰労引当金	44,614	—
負ののれん	7,529	6,340
その他	59,927	100,729
固定負債合計	1,111,452	1,181,979
負債合計	4,414,929	4,697,114

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	393,562	393,562
資本剰余金	277,699	277,699
利益剰余金	998,878	1,020,879
自己株式	△98,168	△98,168
株主資本合計	1,571,971	1,593,972
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△17,002	△17,835
その他の包括利益累計額合計	△17,002	△17,835
純資産合計	1,554,969	1,576,137
負債純資産合計	5,969,898	6,273,252

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
売上高	3,111,467	2,883,155
売上原価	2,573,759	2,372,699
売上総利益	537,707	510,455
販売費及び一般管理費	471,726	467,014
営業利益	65,980	43,440
営業外収益		
受取利息	784	806
受取配当金	1,845	2,959
負ののれん償却額	4,211	1,189
持分法による投資利益	1,531	1,563
その他	12,497	7,897
営業外収益合計	20,870	14,416
営業外費用		
支払利息	14,308	14,106
その他	1,120	615
営業外費用合計	15,429	14,721
経常利益	71,422	43,135
特別損失		
投資有価証券評価損	6,015	—
訴訟和解金	8,770	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	9,115	—
特別損失合計	23,900	—
税金等調整前四半期純利益	47,522	43,135
法人税、住民税及び事業税	6,710	7,442
法人税等調整額	11,215	8,647
法人税等合計	17,925	16,089
少数株主損益調整前四半期純利益	29,596	27,045
四半期純利益	29,596	27,045

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	29,596	27,045
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,001	△832
その他の包括利益合計	15,001	△832
四半期包括利益	44,597	26,213
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	44,597	26,213
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成22年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	スチュワード 管理事業	総合給食 事業	音響・放送 機器等 販売事業	映像・音響 機器等販売 施工事業			
売上高							
(1)外部顧客に 対する売上高	1,296,759	608,456	442,069	764,181	3,111,467	—	3,111,467
(2)セグメント 間の内部売上高 又は振替高	—	—	5,717	1,598	7,315	(△7,315)	—
計	1,296,759	608,456	447,786	765,780	3,118,783	(△7,315)	3,111,467
セグメント利益 又は損失(△)	66,810	21,414	24,874	△28,072	85,026	(△19,046)	65,980

(注) 1 セグメント利益の調整額△19,046千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成23年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結 損益計算 書計上額 (注) 3
	スチュワード 管理 事業	総合給食 事業	音響・放送 機器等 販売事業	映像・音響 機器等 販売施工 事業	計				
売上高									
(1)外部顧客に 対する売上高	1,251,822	541,398	457,393	629,995	2,880,610	2,544	2,883,155	—	2,883,155
(2)セグメント 間の内部売上 高又は振替 高	—	—	5,626	1,064	6,691	55,012	61,703	△61,703	—
計	1,251,822	541,398	463,020	631,060	2,887,302	57,556	2,944,859	△61,703	2,883,155
セグメン ト利益 又は損失 (△)	36,298	16,112	31,844	△47,278	36,978	△513	36,464	6,976	43,440

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり総務・人事・経理管理事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額6,976千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (7) 重要な後発事象

## ① 固定資産の取得

当社は、平成23年1月23日開催の取締役会において、将来の本社移転先として土地・建物の取得を決議し、契約を行っていましたが、平成24年1月27日、物件の引渡しを受けております。

所在地	東京都中央区日本橋小伝馬町
物件引渡し日	平成24年1月27日
取得価額	1,020百万円
敷地面積	421.52㎡

## ② 資金の借入

当社は、平成23年1月23日開催の取締役会において、資金の借入を行うことについて決議し、借入を実行しております。

借入の用途	固定資産取得資金として
借入先	株式会社みずほ銀行
借入金額	1,100百万円
利率	年1.185%
返済期間	10年
借入日	平成24年1月27日
最終返済期日	平成33年12月30日
担保提供資産の有無	有